

「今月の1枚」

マツカゼソウ（ミカン科マツカゼソウ属） *Boenninghausenia albiflora* var. *japonica*



写真 1



写真 2



写真3

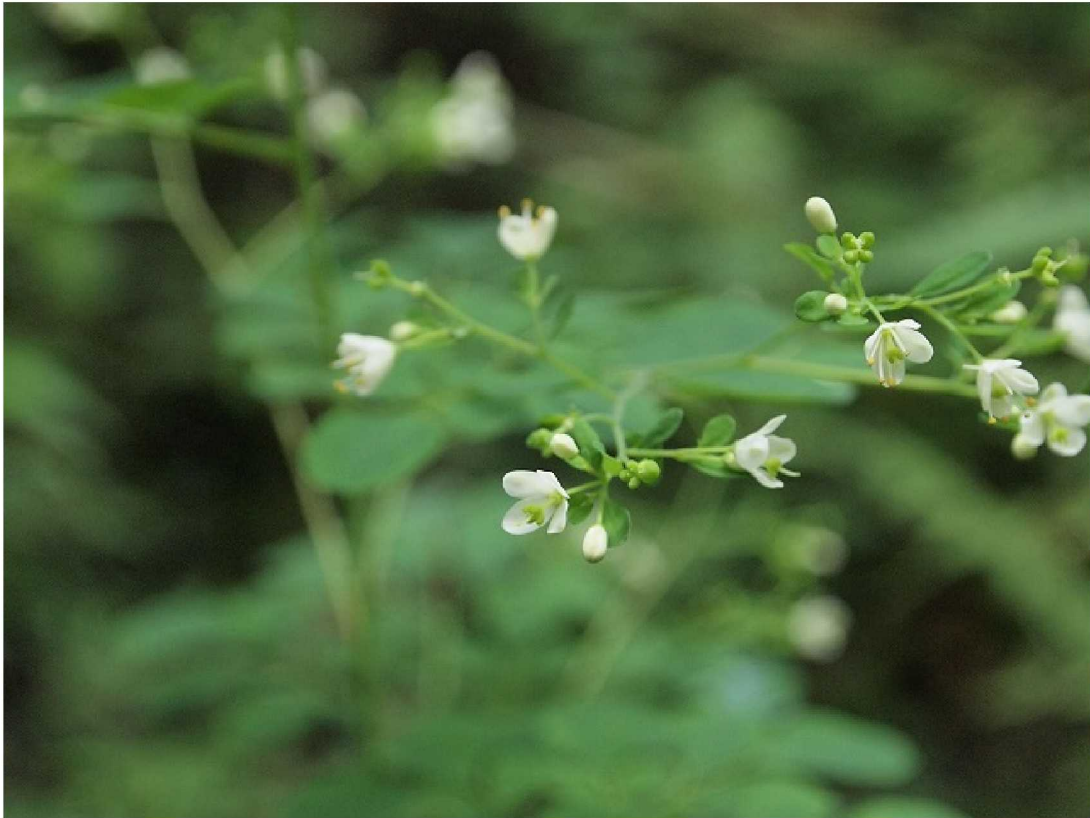


写真4

日本では本州（宮城県以南）、四国、九州に分布する多年草（花期は8～10月）で、山地の林縁、林床などで見られます。四国では、近年、ニホンジカの生息数の増加により、植生に大きく影響がではじめていますが、マツカゼソウは、シカが好まないらしく、シカ生息数が多くなると、林道沿いや明るいスギ人工林の林床などで目立つようになります。葉や茎には独特の香りがあり、シカはこの香りが嫌いなのかもしれません。

なお、学名については*Boenninghausenia japonica*と標記される場合もあり、日本のマツカゼソウが東南アジアに分布する*Boenninghausenia albiflora*の変種（var.）ではなく、別の独立した種と考えている人達もいるようです。

(写真・文：酒井寿夫 2016年8月30日 土佐町にて撮影)

(No.263 2016.9.5 掲載)